

創立110周年 スローガン	立教184年 活動方針
「110年のご恩報じ 熱き心で 進め 網走」	「おやさまのひながたとは、 ようぼくを育て増やすこと」 ・初席者 66名 ・中席者 280名

◇第2回 オンライン「あ・走」配信決定◇

テーマ「おつとめ」
第2回目は4月25日午前10時より配信予定
講師は旭一分教会長・栗林徳正先生です！
詳しくは別紙を参照して下さい
担当：菅原明宏 (080-1886-7009) まで

◇全教一斉ひのきしんデー◇

コロナ禍ではありますが、今年は各支部、各教会単位で開催
させて頂くことになりました。詳細は各教会へお尋ね下さい。

◇昇殿参拝◇

2月26日、3名が昇殿参拝させて頂いた。



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227



大教会ホームページの
QRコードです。
ぜひ一度ご覧下さい♪



大教会二月月次祭

大教会2月の月次祭は、12
日午前9時30分から大教会長
祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様
の御守護に御礼申し上げた後、
二月の御本部春季大祭に網
走大教会の代表が昇殿参拝さ
せて頂き、ちばの理を頂戴致
しましたこと心より御礼申し
上げます。私共をはじめ、教会
長用木一同は、五十年のひな
がたをもつてお急ぎ込み下さ
れた、つとめに籠るおやさま
の思いを深く心に刻み、日々



神 殿 講 話 要 旨

教祖百三十年祭後に、真柱
様がお話下されたお言葉の中
に『百三十年祭を勤め終えて、
これからの歩み方を思索する
時、何にもまして、道の将来

神 殿 講 話

三 幣 正 志 役 員

のおつとめを一日生涯の精神
でつとめると共に、つとめの
理を取り次ぐおさづけにおい
ても、おやさまの道具集とし
て、身上に苦しむ方々に真剣
にお取り次ぎさせて頂く所存
でございます。」と奏上した。
その後座りつとめ・十二下
りのてをどりが勤められ、参
拝者は共に勇んでみかぐらう
たを唱和した。

を担う人材を育成する必要性
を強く感じるのであります。
(中略) 人を育てるのは一朝
一夕にできることではありません。
せん。年限も手間も掛かりま
す。こうして年祭を勤めた今
日、改めて足元を見つめ直し、
長い目で道の将来を担う人材
を育てる、また、増やす活動
に腰を据えて取り組まなけれ
ばならないと思うのでありま
す。』とお話し下さいました。

立教百八十四年(令和三年)八月二十九日(日曜)

網走大教会創立百十周年記念祭執行

先人のご尽力と志を胸に

護 守 御 人	初 席	中 席
	1 席	4 席
	累計	
	1 席	5 席

続いて、この年10月の秋季大
祭神殿講話では、日常生活に
おける、道の信仰者としての
あり方を再確認下さり、かし
もの・かりもの、八つのほこ
り、そしてひのきしんについ
てをご教示下さいました。

年も明け、立教180年春季大
祭の神殿講話では、教会の使
命についてお話し下さり、私
たち信仰者の目指す陽気ぐら
し世界の実現に向かって、教
会内容充実の基本姿勢をお示
し下さいました。又、この年
7月26日夕刻、かんろだいが
人の手によって倒される、と
いう大きな節をお見せ頂きま
した。そして、立教181年春季
大祭の神殿講話では、教祖が